



禾二小だより

大輪の子

都留市立禾生第二小学校

TEL 43-8005

第10号 平成31年1月15日



2019年 3学期スタートです！

新年あけましておめでとうございます。2019年、平成最後の年がスタートしました。ご家庭のみなさん、地域のみなさん、本年もどうぞよろしく願いいたします。

1月10日（木）、3学期の始業式を行いました。年明けから厳しい寒さが続いています。子ども達は寒さに負けず、元気な姿で登校してきました。静かだった学校も冬休みが終わり、子どもたちの元気な声がまた戻ってきました。3学期は50日（6年生は47日）しかありません。ポーッと過ごしていると、あっという間に終わってしまいます。短い3学期ではありますが、卒業式を始め、中身の濃い学期となります。まとめの学期3学期を、有意義な学期にしていきたいと思えます。

新学期を迎えるに当たり、始業式で「今年はいのしし年です。猪突猛進の言葉にあるように自分の目標に向かって真っ直ぐに進んで下さい。」という話をしました。「勉強をがんばりたい。」「お手伝いをいっぱいする。」「友達に優しくする。」子ども達が決めたそれぞれの目標に向かってがんばれる1年にして欲しいと思えます。

始業式では全校を代表して、4年生2名が「冬休みの反省と3学期がんばりたいこと」を発表してくれました。2人とも、今年の意気込みが感じられる発表でした。

全校児童で歌った校歌。元気いっぱいの歌がホールに響きました。それぞれの新しい年に向けがんばっていきましょう。

だんごばらが飾られました

1月10日（木）、3学期初日の禾二っ子クラブの活動は、地域の伝統的風習のだんごばらを作りました。だんごばらとは、昔、養蚕が盛んだった都留市（郡内地方）の風習で、ヤマボウシの枝にお米の粉で作ったおだんごをつけたものです。昔はこのだんごばらに、いいお蚕が育って、いい繭ができますようにとお祈りしたそうです。だから、別名「繭玉」とも言うそうです。このおだんごを小正月のどんど焼きで焼いて食べると風邪を引かないといわれています。



家庭科室を利用して、地域の方々のご指導で紅白の団子を作りました。作った団子は、各自で持ち帰ったほか、学校の玄関にも飾っていただきました。とても貴重な昔の風俗や文化を知る機会になっています。

ご家庭の皆様、地域の方々、是非だんごばらを見に来て下さい。

お知らせ

3年生担任の清水汐里先生が懐妊されました。1月30日より産休に入ります。代わりに白水明美先生が3年生の担任となります。清水先生、元気な赤ちゃんを生んでくださいね。白水先生、3月までよろしくお願いいたします。

平成30年度全国・学力学習状況調査の分析結果について

全国学力・学習状況調査(6年対象)が、4月17日に全国の小中学校で実施されました。調査結果は、文部科学省や県から集計・分析結果が送られた後、本校においても調査結果の分析・考察を行ってまいりました。都留市教育委員会より結果報告がまとまり公表されましたので、これに合わせて本校の状況や今後の改善策などについてお知らせいたします。また、今年度は、理科についての調査も行われました。

なお調査に参加しました6年生児童には、個人票をもとに具体的な課題等について2学期のうちに、個々に説明させていただきました。

分析結果の概要

学力調査 全体状況について

国語、算数、理科ともに全国・県と同等の正答率でした。問題A(知識)は正答率が高いのですが、問題B(活用)は、平均をやや下回っていました。学習状況調査もおおむね良好な調査結果となりました。

国語について

全体として全国・県とほぼ同等の正答率といえます。「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域はA(知識)B(応用)ともに全国・県の平均を上回っています。しかし、「読むこと」の領域はA、Bともに平均を下回っていました。また、記述式の問題では、無解答の児童もいました。国語の授業において感想記述の機会を増やし、説明文の要旨をまとめる学習を意図的に仕組むことにより、課題解決を図ります。また、全教科を通して自分の考えをまとめ、発表するとともに、説明文の要旨を捉える学習の機会を意図的に増やし、「読むことの領域」の底上げをはかりたいと思います。

算数について

A(知識)は、全ての領域で正答率が全国・県の平均を上回っていました。しかし、B(応用)では、「量の測定」「数量関係」の領域で、若干平均を下回っています。また、無解答者がB(応用)に多数いる点も気になります。算数の授業や朝学習、放課後学習を通して、基礎基本の定着を図ると同時に、問題を筋道立てて考え、理由を記述する学習を意図的に仕組むことで改善を図っていきたいと思います。

理科について

全体として全国・県とほぼ同等の正答率といえます。特に「物質」領域は高得点でした。「複数の情報を関係づけながら分析して考える」は、正答率が低い傾向にあります。グループ学習を通して、友だちとのコミュニケーションを図りながら、多数の意見を参考に深い考えへと導く学習過程を多く取り入れることで改善を図っていきたいと思います。

学習状況調査について

「先生は認めてくれている。」「いじめはどんな理由があってもいけない。」は、100%肯定的な意見でした。しかし、「家庭学習の時間」や「地域行事への参加」「読書の習慣」などは全国や県に比べて落ち込んでいる傾向にあります。特に家庭学習は、30分以下の児童が4割いました。子どもの良い面を生かしながら、さらに家庭との連携を図る中で、基本的生活習慣の改善や家庭学習の習慣化を図りたいと思います。

子ども達のより良い未来に向け、学校でも授業改善をしていきたいと思います。今後ともご理解とご協力をよろしく願います。